

ふれあい広場



ふれあいミュージック・ケアご案内と障がい者支援募金の活動

京都北ライオンズクラブ

L 高橋 一馬

本号では、ライオンズクラブ国際協会 335 - C 地区 3R1Z 合同アクティビティとして、障がい者の方との交流を深めていく為に、ふれあいミュージック・ケアのご案内をさせて頂きました。京都北ライオンズクラブにおきましても、皇后盃第36回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会へ大会参加記念品として、刺繍入りバンダナ1000枚を提供すると共に、障がい者支援募金をボーイスカウト京都24団カブ隊のご協力も得て、西京極総合運動公園のブースにおいて、駅伝当日の1月14日に行いました。多くの方々よりの募金を得て、総額121,176円を京都新聞社会福祉事業団に寄付いたします。

今後も、他団体の御協力もお願いして、障がい者の支援や募金活動は、継続してまいります。



ライオンズクラブ国際協会 335 - C 地区 3R1Z 合同アクティビティ

だれでも どこでも いつでも 楽しめる音楽療法

ふれあいミュージック・ケア体験のご案内

ミュージック・ケアは音楽の特性を活かし、その人がその人らしく生きるための援助を行う音楽療法のひとつです。参加者と心と心を響かせ合いコミュニケーションを図ることを大切にしています。全国で多くの方が実践し医療・教育・福祉の現場で注目されています。どうぞご参加ください。

日時：平成30年3月25日(日)
9:30受付開始 10:00~12:00

会場：京都市障害者スポーツセンター 体育館
(京都市左京区高野玉岡町5 TEL075-702-3370)

講師：伊藤美恵氏
(NPO法人日本ミュージック・ケア協会副理事長・日本音楽療法学会認定音楽療法士)

参加費：無料 定員：150名(先着順)

申込方法：裏面に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXで下記へお申込み下さい。
〒604-8241 京都市中京区釜座町22 ストックビル三条烏丸415号
京都北ライオンズクラブ
FAX 075-221-3864

申込締切：2月9日(金) ※ただし定員に達し次第募集を締め切ります。

その他：当日は動きやすい服装でお越しください。
上履きがあると便利です。お飲み物を各自お持ちの上お越しください。
会場には駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。

お問い合わせ先：京都北ライオンズクラブ事務局
TEL 075-221-3854

主催：ライオンズクラブ国際協会 335 - C 地区 3R1Z
京都市中京区釜座町22 ストックビル三条烏丸415号
京都北ライオンズクラブ・京都南ライオンズクラブ
京都北ライオンズクラブ・京都北ライオンズクラブ
京都南ライオンズクラブ

『まだまだ募集中!!』

命輝け第九コンサートの会

青野浩美トーク&コンサート

2017.9.24(日) 14:00~16:00
京都アスニーホール

命輝け第九コンサートの会の主旨に賛同されコンサートを開催して下さった青野浩美さんのトーク&コンサートに、当日、約250人のお客様が超越しになり無事に盛況の内に終える事が出来ました。京都北ライオンズクラブの方にはお客様の会場までの誘導係をして下さりありがとうございました。青野さんは原因不明の神経性難病を発症され手足が動かなくなり車椅子の生活になり呼吸を維持するために気管切開をされました。歌手活動は前例がないから無理と告げられましたが、それなら自分が前例を作る。歌うことを絶対諦めないをモットーにリハビリに励まれました。懸命なりハビリの中でスピーチカニューレと出会い、声を取り戻し美しい声で歌われるようになりました。その壮絶な経験にも関わらず明るく楽しいトークで和やかな雰囲気の中で、イタリア語で「野ばら」「オーソレミーオ」など歌って頂きました。特に「世界に一つだけの花」は堺の手話サークルのパフォーマンスと一緒に会場全員で歌うことができ盛り上がりました。



鴨川チャリティートーチウォーク

2017.11.12(日) 11:20~11:45
賀茂大橋~丸太町橋

壬生会場の有志約10名が初めてスペシャルオリンピックス日本・京都のイベントに参加しました。快晴の中京都北ライオンズクラブの方々と一緒に楽しく歩きました。「命輝け京都第九コンサート」の横断幕を持ちながらアピールしました。ベーターヴェンの顔が書かれた大きな幕を鴨川の土手に敷いていると行き交う人が「誰の顔ですか?」「何をしていますのですか?」など関心を持って見て頂きました。チャリティートーチウォークに参加された方々が通られる時にも幕を振って応援することもできました。来年第13回命輝け京都第九コンサートの開催日が近いので広報するのに良いとの反省があり又参加したいと思います。



スペシャルオリンピックス日本(SON)京都

昨年、京都北LC様からの呼びかけを頂き、ふれあいボウリングをご縁にして、ふれあい広場の各団体様の事業内容や特色等も、少しずつわかってきたところです。

なんと云いまして、私達（スペシャルオリンピックス）は、物を作ったり、販売をしたりして社会とふれ合うのとは違い、知的障害のある人達（8歳以上の人）と日常的にスポーツ競技のトレーニングを行い、常に上を目指して大会に出場し、少しでも良い成績を取るために頑張っています。

スポーツを通してルールを体得し、規律を守り社会人として普通の生活が出来るきっかけを見つけ出してもらえたらというのが目的の1つであります。

その活動のためには、全てボランティア、寄付による活動資金で運営されています。

そこで、こんな内輪の話をして、我々の団体を知り理解して頂けたらと書かせて頂こうと思いました。

例えば、2017年10月7日、京都コンサートホールで開催されました、SON・東京／愛知／京都支援チャリティコンサートでの例、京都北LC関係の方々にもチケットの購入をお願いしましたが、そのご協力のお陰でSON・京都には約150万円の資金を頂戴することが出来たのです。年間400万円程の予算を必要とする団体として、チャリティコンサートの収益金は本当に有りがたい活動資金として利用させて頂けるのです。常日頃、色々ご協力、ご無理をお願いしています一端を知って頂けたらと思いました。

ガラッと話は変わります。

2017年11月12日、鴨川チャリティトーチウォーク

前夜の冷たい雨も上がり、予報通りのお天気に恵まれて、午前10時に植物園北門をスタート、鴨川の東岸と西岸に分かれ、北大路橋から御池中学校まで25団体、250余名のたくさんの方々参加のもと、秋の気配をゆっくと楽しみながら・・・ともいかずでしたが、トーチを受け継ぎながらウォーキングが出来ました。

京都北LC様も新調の青のジャンパーで初参加、ご夫妻で参加もあり、クラブアシスタントの荒木さんにも大変お世話になりました。

その時もう一つ驚かされたのが、ベートーヴェンの顔が描かれた大・大段幕が川岸の堤に広げられ、トーチウォークを出迎えて下さっていたこと！！

命輝け第九コンサートの会の久馬さんの仕掛けでした。西岸では素敵な歌声も聞けたとか。何時もとちょっと違ったトーチウォークにさせていただき有り難うございました。お誘いして協力していただき、その上楽しんで頂けたのなら嬉しい限りです。

ふれあい広場でつくられた輪が、私達SOの力となり、励みとなり、次の活動に繋がっていければと思います。

2018年9月には世界大会（オリンピック）の予選にもなりますナショナルゲームが愛知で開催されます。その大会で良い成績を出すことを目標にして今年も活動します。

3月に開かれます総会の後、年間行事をご報告させていただきます。

今年もどうぞ宜しくお願い致します。

SON・京都 小西 布巳江





社会福祉法人 白百合会

この度、社会福祉法人白百合会リ・プラン京都中京にて、京都府こどもの城事業「こどもの城・セカンドテーブル」を開始させていただくこととなりました。

私共白百合会は、京都市内において、35年に渡り培った社会福祉事業における支援技術を、地域の皆さま方のお役に少しでも立てればと願っております。未来を担う子供たちが、夢と希望と誇りをもって成長できる「きっかけの場」づくりを共に創りあげていきたい。そのために次のように考えています。

- ・なかなか、ゆっくり子どもと向き合う子育ての時間や場が持たず、悩んでおられる忙しいお母さま・お父さまを応援します。
- ・お留守番がちな子どもさんが、楽しく勉強したり、ごはんを食べたりできる安心してすごせる場所をつくります。
- ・子どもさんが自分のやりたい事を見つけられるように、トライできる力（話す力、書く力、考える力）を身に着けるお手伝いを致します。
- ・英語に親しみ、算数が好きになる、作文が得意になるチャンスをつくります。

学習支援は、経験豊かな元京都府教員（パズル作家）が中心となって指導させていただきます。そして、子どもたちが周りの人を大切にする思いやりの心を育み、豊かな表現力を持てるよう社会福祉専門職員が一緒におしゃべりをしたり、悩み事を聞いたり、遊んだり、共に学び、笑い声がいっぱい聞こえる時間をつくります。

以上を主旨に、現在小学校1年～6年男女合わせて8名の子どもさんと共に夕飯から勉強・宿題・卓球やゲーム等楽しんでいます。開所には府・市・区長・近隣学校長・区社協・地域活動をされている役員の方々・ボランティアさんなど、思いがけないほどのご協力に恵まれ、事業を進めさせて頂いています。

人々の善意と愛の集まる場所で、地域の子供さんと時間を共有できる幸せに感謝しています。



あつまれ! こどもの城 セカンドテーブル

英語をたのしくおぼえよう! こぼんち食べられるよ!



ピープルファースト京都



ピープルファースト京都の代表の上田哲久です。これから、少しずつ、私たちの活動や私たちのことを、みなさんに紹介していきたいと思っております。最初は、僕のことを紹介します。「僕は小学校1年生の時から、障害児学級に行っていました。中学校も障害児学級で、ほとんど小学校のころと同じメンバーでした。中学の3年生のころからは龍谷大学のボランティアの人たちが手伝ってくれていた「つばさ会」の人たちと遊ぶようになりました。白河養護学校を卒業したあとは伏見作業所に通いました。伏見作業所では、実習のころからコーヒー豆を袋につめたり、他のところの田んぼを借りて田植えをしたりしていました。伏見作業所で働き始めてから2ヶ月ほどで、次は清掃の会社まわって、そこでは23歳くらいまで働いて、それから次に春日という会社に勤めました。春日ではお刺身をパックにつめたり、他の部署に運んだり、洗いものをしたりしていて、40歳くらいになるまで働きました。その頃、「つばさ会」をやっていた先生に紹介されて、ピープルファースト京都のメンバーになりました。最初のころはメンバーが少なかったけど、例会であちこち出かけていました。そのころ、親の仕事がうまくいかなくなって僕の年金が使われるようになって、それが嫌で、家を出て一人暮らしをしたいと思うようになっていきました。もともとと妹が20歳になる前に家を出ていたので、僕もそうしたいなと思っていたのもありました。」（次回に続く）

「8月20日と10月1日に、仏教大学の学生さんと交流会を行いました！」

<メンバーの感想より>

仏大の学生さんと一緒にぶどうがりやバーベキューに参加して、とても楽しかったです。ぶどうがりでは、とったブドウが大きくておなかがいっぱいになりました。バーベキューの時は、カレー作りコンクールをしました。私は、仏大の人と一っしょにじゃがいもや野菜を切りました。交流会ではさいころトークの司会をしました。緊張したけど上手にできました。学生さんともしゃべれたのでよかったです。(t)

